

## “いわきの今昔” 地域画像等の収集・保存事業

### ■事業概要・目的

いわきのまちの姿や人々の暮らし、風景の移り変わり、更には、震災や復興の状況等が記録された画像等を収集・保存するとともに、市公式 Facebook やホームページでこれらの画像に歴史的解説等を加えて紹介するなど、広く市民等に公開するもの。

### ■開催日 通年

### ■会場 ー

### ■参加人数 ー

### ■事業費 4,569,573 円

### ■実施内容

- 市公式 Facebook (いわきの今むがし・50周年まめちしき) による情報発信
- 市公式 Facebook の投稿を基にしたアーカイブ化
  - 市公式ホームページ  
今むがし、まめちしきの各投稿をコンテンツに整理し、登録。
  - 広報いわき  
「いわきの五十年を振り返る」として毎号掲載。
- 庁内外からの資料収集及び資料提供

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

「いわきの今むがし」及び「50周年まめちしき」の Facebook リーチ数 (投稿を見た人) は、28年度中で約 13 万人 (延人数) を超え、市ホームページへのアクセス数もおよそ 3 万件になるなど、多くの方々に興味・関心を持っていただくことができました。

また、地域画像等の収集についても 27,000 点以上の提供があり、いわきの歴史を継承する上で、貴重なものになると考えます。

引き続き、市民の皆様などに、広く地域画像等の収集・提供を呼び掛けながら、資料整理・活用を推進し、貴重な歴史資料を後世に継承していくとともに、本市への愛着度の向上や今後の周年誌作成に繋げて参ります。



市公式ホームページ (いわきの今むがし)



広報いわき (2月号)

## 伝えたい誇れるいわき醸成事業

### ■事業概要・目的

いわきが誇る歴史・文化・伝統等を見出し、学び、PR し、後世へつないでいくことを通して、郷土愛やふるさとの誇りを育み、本市の次代のまちづくりを担う人材を育成するため、歴史学習資料の発行や地域学講座を開講するもの。

### ■開催日 通年

### ■会場 市立公民館他 (地域学)

### ■参加人数 1,581 人

### ■事業費 3,154,820 円

### ■実施内容

- 手軽に「いわき」について学べる「歴史冊子の作成」  
歴史の認識・定着のため、小学校の授業等で積極的に活用できる冊子を作成。
- 手軽に「いわき」について学べる「場の提供」  
多くの市民が共に地域の動きや地域の歴史などを学ぶ場として、地域学を開講。

たいら学：中央公民館

小名浜学：小名浜公民館 勿来学：勿来支所

じょうばん学：いわき市ゆったり館

内郷学：いわき市総合保健福祉センター

四倉学：四倉商工会館

小川学：小川公民館

久之浜・大久学：久之浜・大久ふれあい館

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

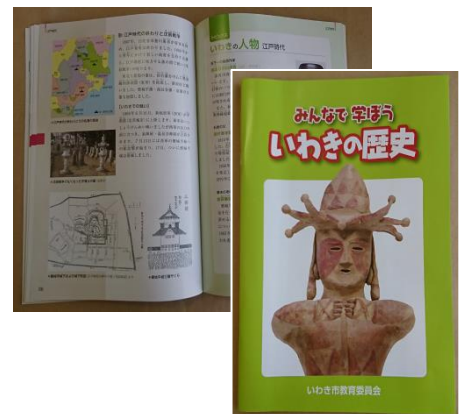
地域の学びを通して、郷土愛の育成や地域に対する誇りを喚起することができ、また、座学+まち歩きを組み合わせることで、より生き生きと地域の歴史を実感できる仕掛けとし、地域活動への参画意欲を促進することができたと感じています。

今後は、教師向けに、地域の歴史に係る研修会を開催し、冊子を有効活用できる環境づくりや、地域の歴史や郷土芸能を教えてくれる地域の人材をリスト化し、学校等へ派遣できる仕組みづくりを検討していきたいと思えます。

このほか、講座受講者を中心に、まち歩き散策ガイドや磐城平城本丸跡地散策ガイド等の養成に繋げ、「歴史を感じさせるまちづくり」に寄与して参りたいと考えます。



地域学：四倉学 (四倉周遊巡視〜歩いて感じて、まちあるき〜)



歴史冊子 (みんなで学ぼういわきの歴史)

## 植樹祭開催事業

### ■事業概要・目的

いわきが着実に復興している姿を発信するとともに、緑豊かな郷土を再生し、森林を守り育て、将来の世代に引き継いでいくために、震災により大きな被害を受けた海岸防災林を会場に「いわき市植樹祭」を開催するもの。

■開催日 平成28年6月18日

■会場 新舞子浜公園

■参加人数 235人

■事業費 1,053,000円

### ■実施内容

- 1 開会のことば
- 2 主催者あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 ちかいのことば
- 6 第69回全国植樹祭「森林とのきずなづくり植樹リレー」
- 7 記念植樹（クロマツ3本）
- 8 じゃんがら念仏踊り
- 9 一般植樹（クロマツ600本）

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

震災により大きな被害を受けた海岸防災林を会場に実施したことにより、鎮魂と再生への想いをあらたにすることができたと考えます。

また、本市が着実に復興している姿を発信するとともに、緑化思想の高揚や環境保全を図ることに繋がる取り組みになったと考えます。



## 都市緑化まつり

### ■事業概要・目的

官民が一体となって本市の貴重な緑を守り、育て、後世に伝えていくことの大切さを市内外に広く伝えるため、参加体験型の教室など、緑化に関連する催しを開催するもの。

■開催日 平成28年9月17日～18日

■会場 21世紀の森公園

■参加人数 約1,650人

■事業費 3,000,000円

### ■実施内容

オープニングセレモニー（感謝状贈呈やマーチングバンド演奏等）の開催後、各コーナーで次のような催し等を実施。

○スタンプラリー

○緑化PRコーナー

緑の相談コーナー、記念樹木の交付、いわき市保存樹木・

樹木パネルの展示、松の剪定教室、木製プランター作成、

花苗販売コーナー、寄せ植え体験教室

○体験コーナー

太極拳教室、芝桜植栽体験、工芸品作成コーナー

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

参加型の事業を実施したことにより、様々な年代の人たちを楽しみながら緑を感じてもらうことができました。

特に芝桜の植栽体験については、公園内に自らの手で緑を増やす普及活動の体験が行え、来春には植栽体験参加者が、自ら植栽した芝桜を観覧に来るといった公園の利用促進にも繋がる事業になったと考えます。

今後についても、公園利用の促進に繋がる参加体験型の事業を実施し、都市緑化や公園の活性化を図って参ります。



## いわきの歴史展

### ■事業概要・目的

市民に郷土史への理解を深めてもらい、本市の魅力を再発見してもらうことを目的に、いわきの歴史と文化を振り返る3つのテーマ（江戸・民俗・人物）からなる企画展の開催や「いわき市の文化財」改訂版を刊行するもの。

■開催日 平成28年9月21日～29年3月末

■会場 考古資料館、暮らしの伝承郷、いわき市文化センター

■参加人数 約5,700人

■事業費 3,731,120円

### ■実施内容

#### 1 企画展「いわきの歴史展」の開催

○江戸編：磐城平藩-井上・安藤時代-(9月21日～11月14日)  
考古資料館で開催。平藩や湯長谷藩など各藩の解説と、関連した出土品を展示。

○民俗編：いわき民俗学の先達者展(9月24日～10月30日)  
暮らしの伝承郷で開催。本市の民俗学研究の軌跡について展示。

○人物編：いわきの人物展(9月25日～3月31日)  
文化センター科学展示室で開催。本市の歴史上の偉人について展示。

#### 2 「いわき市の文化財」改訂版の刊行

平成15年に刊行した「いわき市の文化財」の改訂版を平成29年3月に刊行。

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

各企画展に多くの来場者が訪れたことで、市民の郷土史への理解を深めてもらい、本市の魅力を再発見してもらうという、当初の目的は達成できたと考えます。

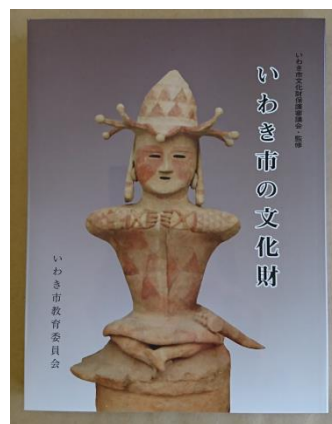
また、「いわきの人物展」については、平成29年度以降も展示内容を更新しながら継続開催する予定であり、今後も文化の振興・発展に繋がる取り組みを実施して参ります。



民俗編：いわき民俗学の先達者展



人物編：いわきの人物展



いわき市の文化財（改訂版）

## いわき市歌普及事業

### ■事業概要・目的

市制施行50周年を機に、より広く市民に親しまれ愛される市歌とするため、記念式典における披露のほか、市歌の普及促進に向け、新たな音源の収録及びCD・楽譜の制作を行うもの。

■開催日 平成28年10月1日（記念式典での演奏）

■会場 いわき芸術文化交流館大ホール

■参加人数 約1,000人（式典出席者）

■事業費 4,539,168円

### ■実施内容

#### ○記念式典における演奏

記念式典のアトラクションとして市内の高等学校で構成する吹奏楽団の伴奏のもと、来場者全員で市歌を斉唱。

#### ○市歌の再録・CD等の制作

次の演奏者による市歌の収録を行い、CD及び楽譜を制作。

オーケストラ：東京都交響楽団

吹奏楽：市内高等学校吹奏楽部（磐城・平商業・湯本）

歌唱：大倉由紀枝氏・小林大作氏

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

記念式典では、市内外から御出席頂いた多くの来賓の皆様とともに市歌を斉唱することにより、市歌にあらためて触れる機会を創出するとともに、市歌の重要な役割である、市の一体感の醸成にも寄与することができたものと考えます。

今後は、新たに制作したCDや楽譜を教育機関や公共施設に配布し、積極的な活用を促すことにより、市歌の普及促進に努めて参ります。



記念式典における演奏



市歌収録（オーケストラ）



## 磐城平城復元「一夜城」プロジェクト

### ■事業概要・目的

地域の歴史を再認識し、郷土愛の醸成、地域に対する誇りを喚起するため、10月1日に磐城平城跡地において平城を「一夜城」として復元・再現するもの。

■開催日 平成28年4月～9月（季節イベント）

10月1日（一夜城復元イベント）

平成29年3月11日～20日（アンコールライトアップ）

■会場 磐城平城本丸跡地

■参加人数 約39,000人（10月1日の関連イベント参加者含む）

■事業費 5,000,000円

### ■実施内容

#### 1 一夜城イベント

10月1日、磐城平城の復元イベントを実施。

いわき駅前から見えるよう、磐城平城本丸跡地内に鉄骨フレームを立て、三階櫓の看板を設置することで一夜城を再現。

※ 一夜城は、市内の高校生及びいわき明星大学の美術部員、イベント使用の大型のぼりは、季節イベント来場者等の協力により作成。

#### 2 季節イベント

復元までの間、市民が郷土の歴史に親しみを持てるよう、磐城平城本丸跡地において、月毎に季節イベントを展開。

4月：さくらまつり 5月：端午の節句

6月：アートアクアリウム 7月：ハワイアンフェスティバル

8月：願いの七夕 9月：名月祭

#### 3 アンコールライトアップ

設置した看板を再びライトアップしたほか、ワークショップ等のイベントを実施。

○ 事業の実施にあたっては、私有地である磐城平城本丸跡地を、地権者の協力を得てイベント会場・憩いの場とした。

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

これまで十分な認知・活用がなされていなかった磐城平城という歴史的財産を、市制施行50周年を機に目に見える形で大々的にPRを行うことにより、多くの市民に本市の復興や郷土のシンボルとして再認識する機会を提供することができたものと考えます。

一夜城については、看板撤去後も「城が見える」ことを残すために、AR（拡張現実）アプリを活用した平城復元を29年3月末から開始しており、今般の取り組みの成果を継承しながら、今後さらに、歴史や文化を生かした魅力あるまちづくり、地域の誇りや郷土愛を育むまちづくりに、官民挙げて取り組んで参りたいと考えております。



さくらまつり



アートアクアリウム



一夜城ライトアップ

## 50周年記念誌の編集・発行

### ■事業概要・目的

市の歴史、文化、市制50年のあゆみ、震災からの復興の姿を、市民や関係者の声、写真、統計データなどを交えて記録する記念誌を編集・発行するもの。

■開催日 平成28年10月1日（発行日）

■会場 —

■参加人数 —

■事業費 8,371,999円（臨時職員人件費を含む）

### ■実施内容

平成27年度から作業を開始し、次のとおり編集発行。

○タイトル：未来へつなぐ「いわき」ものがたり

○仕様：A4版 オールカラー365ページ（全6章立て）

○発行部数：4,500部（無償配布分3,500部、有償頒布分1,000部）

・市内の教育機関をはじめ、県内市町村や中核市、災害協力自治体、さらには市外・県外の図書館などの関係先に無償配布。

・有償頒布は販売価格1,000円にて、本庁舎及び各支所で販売（郵送販売も実施）。

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

多くの写真や図、表を掲載するとともに、コラムや豆知識を随所に盛り込み、いわきの成り立ちなどを分かりやすく解説する内容とし、いわきを学び愛することができる冊子として、作成することができました。

関係機関のほか市内教育機関への配布を行い、本市の未来を担う若者たちの目に触れることにより、市史の継承と郷土愛醸成に繋がると考えています。

市保管分については、引き続き市のPRや研修等に活用していくとともに、今回の実績は、今後の周年誌制作業務等に引き継いで参ります。



## 50周年映像記録の制作・配信

### ■事業概要・目的

記念誌の発行に合わせて、市制50年のあゆみや震災からの復興の姿、そして市の持つ様々な魅力を内外に伝えるための映像（DVD）を制作・配信するもの。

■開催日 平成28年10月1日（発行日）

■会場 ー

■参加人数 ー

■事業費 2,948,400円

### ■実施内容

記念誌同様、平成27年度から作業を行い次のとおり制作配信。

○仕様：20分40秒

○作成枚数：2,000枚

（無償配布分1,000枚、記念誌有償頒布録分1,000枚）

- ・市内の教育機関をはじめ、県内市町村や中核市、災害協力自治体、さらには市外・県外の図書館などの関係先に無償配布。
- ・映像は市公式YouTubeで配信するほか、本庁舎玄関前のテレビで常時放映を実施。



### ■事業の成果・今後の施策等への反映

市誕生から震災を含めた50年の軌跡を、過去のフィルム映像を交えながら紹介する映像記録であり、市制施行50周年を広くPRしながら、市の成り立ちなどを後世に継承するとともに、市民等の本市への理解をより一層深めることに貢献できるものと考えます。

今後、各種事業等で活用できるよう貸出等を随時行い、市民の皆様などへの更なる周知を図って参ります。



本庁舎玄関前でのテレビ放映

## 原動機付自転車等に係るオリジナルナンバープレート作成交付事業

### ■事業概要・目的

市に対する愛着を深めてもらうとともに、市の魅力をPRし、更なる観光振興やイメージアップを図るため、原動機付自転車等に係るオリジナルナンバープレートを作成し交付を行うもの。

なお、交付開始日には、いわき郵便局においてセレモニー（出発式）を開催した。

■開催日 平成28年10月3日～

■会場 いわき郵便局（交付セレモニー）

■参加人数 75人（セレモニー参加者）

■事業費 1,146,841円

### ■実施内容

○平成27年度にプレートのデザインを公募して決定。

○郵便局の原動機付自転車等に使用してもらうことで、より広くPRすることができるものと考え、ナンバープレートを交付し、併せてセレモニー（出発式）を開催。

### 【交付セレモニー】

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 オリジナルナンバープレートの交付
- 4 郵便局代表あいさつ（いわき郵便局長）
- 5 テープカット及び出発
- 6 閉会

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

オリジナルナンバープレートは、フラガールとハイビスカスをあしらひ、上部に虹、下部には海というデザインで、震災からの復興を遂げ、明るく元気ないわきを目指す本市の魅力をPRするものとして相応しいものになったと思います。

また、交付開始に当たり、いわき郵便局の協力を得て、セレモニーを実施したことによって、市内一円にPRもできました。

平成29年9月29日まで無償交換することとしたことで、窓口にも交換希望者が訪れてきていることから、本事業が明るく元気ないわきのPRに寄与していくものと考えます。



## いわき市議会発足 50 周年記念誌の発行

### ■事業概要・目的

市議会発足 50 周年の節目の年を迎えるに当たり、これまでの 50 年を振り返り、議会活動の経過、特に近年の議会改革の経過等、いわき市議会活動記録をまとめた市議会発足 50 周年記念誌「いわき愛」を発行するもの。

■開催日 平成 28 年 12 月 1 日（発行日）

■会場 ー

■参加人数 ー

■事業費 12,960,000 円

### ■実施内容

#### 1 いわき市議会発足 50 周年記念誌「いわき愛」の発行

##### ○掲載内容

- ・これまでの市議会の活動
- ・いわき市議会のしくみ
- ・いわき市議会発足 50 周年記念事業
- ・議員座談会
- ・議会開催状況や年表などの資料集 等

##### ○発行部数 400 部

○配付先 市議会議員、県議会議員、国会議員、市立図書館、国会図書館、各支所、各公民館、市内各学校（小学校、中学校、高等学校、大学等） 等

#### 2 記念誌の要約版の発行

○発行部数 10,000 部

○配付先 市内中学校

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

各議員及び図書館、支所、公民館、学校等へ配布し、議員からは「先人の議会活動を改めて知ることができ、興味深かった。」、また、ある学校からは「議会のことを学習する学級に配置して、学習の参考としたい。」といった話をいただくことができました。

また、記念誌の発行について新聞に掲載されたことにより、市民の皆様から「記念誌を読みたいが、どこに行ったら読めるのか。」といった問い合わせもあったことから、市議会への関心を高めるための一助になったと考えます。

こうした様子から、本事業の目的である「これまでの本市議会の活動を広く市民に周知し、議会に対する理解を深め、関心を高めるとともに、市民に身近な議会というイメージを醸成する。」という効果は得られたものと考えます。

記念誌についてはホームページに掲載するほか、議会の傍聴や小学生を中心とした議会見学などを通して、さらに市民に身近な議会の醸成に努めて参ります。



## 議会報「ほうれんそう」議会発足 50 周年記念特別号の発行

### ■事業概要・目的

市議会発足 50 年の節目の年を迎えるに当たり、議会への親しみをより一層深めるため、議会報告等に関する通常版とは別に、議会報の歴史と変遷を掲載した議会報「ほうれんそう」の特別号を発行するもの。

■開催日 平成 28 年 12 月 20 日（発行日）

■会場 ー

■参加人数 ー

■事業費 972,594 円

### ■実施内容

##### ○掲載内容

- ・議会報の変遷
- ・議会報第 1 号からの掲載内容をピックアップして掲載。
- ・議会報の受賞歴
- ・マンモス議会 Q & A など

○部数 116,200 部

○配布先 市内全戸

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

市内全戸配布を通じて、これまでの議会報の変遷について市民の皆様にも周知することができたほか、中核市議会議長会主催の平成 28 年度議会報コンクールにも出品し、幅広く市議会に興味や親しみを感じていただける機会になったものと考えます。

今後、議場見学や出前講座、各種研修等の際に、参考資料の一部としての活用を検討して参ります。



## 叙勲者懇談会

### ■事業概要・目的

本市在住の叙勲等受章者の榮譽を讃えるとともに、市政運営に関する意見を伺う機会である叙勲者懇談会において、市制施行 50 周年を記念した特別な企画を実施するもの。

■開催日 平成 29 年 2 月 10 日

■会場 いわきワシントンホテル椿山荘

■参加人数 37 人

■事業費 708,930 円

### ■実施内容

○受章者 27 名（叙勲 24 名、褒章 1 名、褒状 1 社・1 団体）  
平成 28 年 2 月から 29 年 1 月に叙勲及び褒章、褒状を受章された市内在住者

#### 【主な実施内容】

- ・集合写真撮影 ・市長あいさつ
- ・来賓祝辞 ・受章者紹介及び記念品贈呈
- ・受章者代表スピーチ
- ・市制施行 50 周年記念・記録映像上映

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

今回、特別企画として市制施行 50 周年を記念した記録映像を上映し、本市の歴史・文化等を改めて振り返ることで、郷土・故郷への誇りや愛着心をさらに高め、地域社会への貢献意欲の向上等を図ることができたものと考えます。

また、受章者を代表し、地域づくりのための環境美化活動により受章となられた方から、日々の活動における豊富な知識や経験による、本市への想いや市政に対する提言等のスピーチをいただき、今後の市政運営等の参考とすることができました。



## 議会へ参加してみよう～きて・見て・市議会～

### ■事業概要・目的

市議会発足 70 周年を迎えるに当たり、より市民に身近な開かれた市議会を目指し、次代を担う子ども達が市議会の模擬体験を通じて市民生活と行政の関わりなどを学習する「中学生議会」をはじめ、「アロハ議会」や「議場コンサート」を実施するもの。

■開催日 平成 28 年 6 月 9 日～23 日（アロハ議会）、  
7 月 14 日（議場コンサート）、  
11 月 3 日（中学生議会）

■会場 いわき市議会議場

■参加人数 262 人

■事業費 432,019 円

### ■実施内容

#### ○アロハ議会

- ・ 6 月定例会期間中、本会議開会前にハワイアン BGM を流すほか、議場内にハワイアンキルト風の装飾等を施し、議会関係者もアロハシャツを着用。
- ・ 「スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム」によるフラダンスの披露（定例会初日のみ）

#### ○議場コンサート

7 月定例会初日の議会開会前に 20 分程度、いわき吹奏楽団の金管 6 重奏による演奏。

#### ○中学生議会

中学生が 8 グループに分かれ市政一般に対する質問を実施。また、4 グループに分かれた特別委員会において提言をまとめ、議場にて報告を行った。

### ■事業の成果・今後の施策等への反映

アロハ議会は、本市を舞台とした「フラガール」が全国公開され、フラのまちとして知名度を高めている中で、フラダンスの披露や、議場内の装飾等を行っての議会開催を行い、いわき市議会として、復興に向けてのアピールや活気あふれるいわきの姿を、多くの報道媒体により全国に発信することができたと思います。

議場コンサートは、いわき市議会として初の試みであり、傍聴者へのアンケートでは、「市民に関心を持ってもらうよう恒例化を提案したい。」や「議場の雰囲気を見ることができてよかった。」等の感想が寄せられ、市民に議会を身近に感じてもらうことを目的とした事業の成果があげられました。

その一方で、演奏終了後には市議会の傍聴をすることなく帰る方も見られたことから、今後の開催については、先進地の開催状況なども踏まえ、検討して参ります。

中学生議会は、参加した中学生からは、「めったにできない経験で有意義だった。」という意見が多く、議会の役割や地方自治の仕組み等を学習するという点からは効果が出せたと考えています。

ただし、一度の開催で参加できる生徒数が限定されることなどの課題があることから、今後は、出前講座や議会傍聴時において議場見学を募集することや、各学校単位での説明の機会を増やす方法を検討するなど、より開かれた議会の実現に向けた対応を検討して参ります。



アロハ議会



議場コンサート



中学生議会